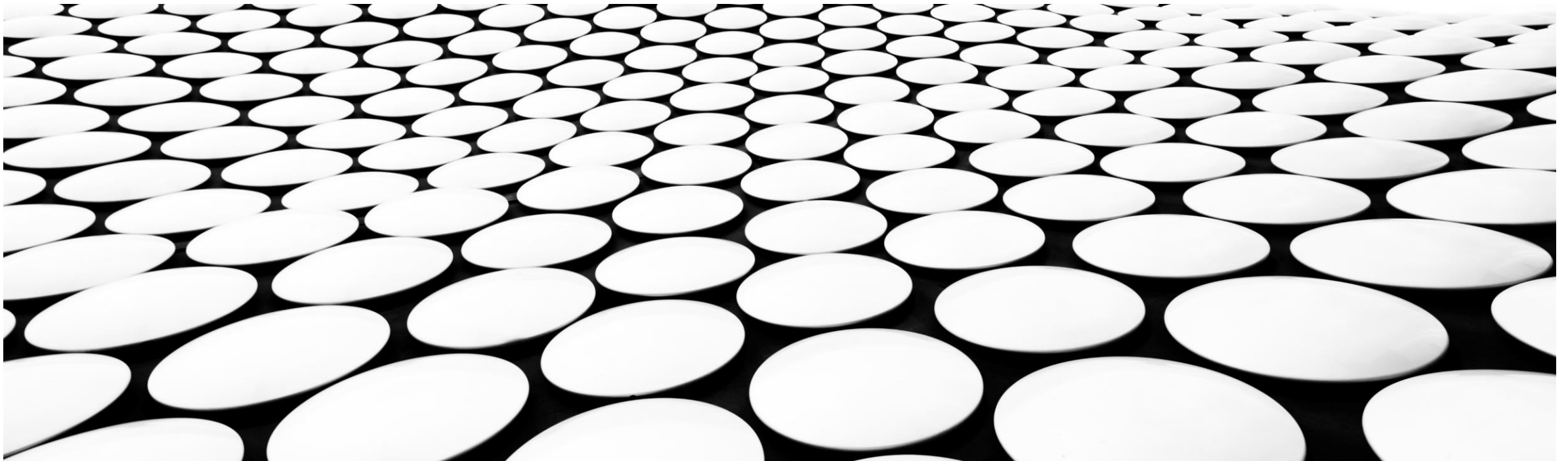


SNS安全利用Webシンポジウム

青少年のSNS利用と出会いの現状について

東京女子大学 橋元良明

2021年11月7日



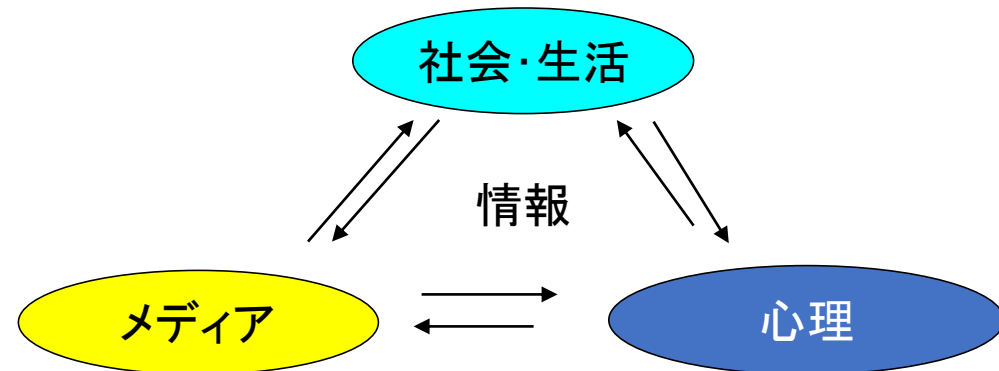
<報告者のプロフィール>

～2020年3月 東京大学大学院情報学環・教授

2020年4月～ 東京女子大学現代教養学部・教授

<専攻>

- ・コミュニケーション論
- ・情報行動論
- ・社会心理学



ひと言で言えば「情報社会心理学」

<主な著書>

『メディア・コミュニケーション学』(編著)大修館書店、 『講座社会言語科学 メディア』(編著)ひつじ書房

『ネオ・デジタルネイティブの誕生』(橋元良明+電通総研)ダイヤモンド社

『メディアと日本人—変わりゆく日常』岩波新書

『日本人の情報行動2010』『日本人の情報行動2015』『日本人の情報行動2020』(編著)東京大学出版会

『メディアコミュニケーション論 I / II』(編著)北樹出版

『ネットワーク社会』(編著)ミネルヴァ書房 ,等。

今回の報告データ

- (1) 橋元研究室と総務省情報通信政策研究所の共同研究
「都立高校生調査」(協力：東京都教育庁、2014年)
- (2) 橋元研究室と総務省情報通信政策研究所の共同研究
「横浜市公立中学生調査」(協力：横浜市教育委員会、2015年)
- (3) 橋元研究室とNTTセキュアプラットフォーム研究所による共同
研究「ネットで見知らぬ人と会う女性の心理研究」(2014年)
- (4) 橋元研究室とNTTセキュアプラットフォーム研究所の共同研
究 「メディア利用に関する調査」(2020年)
- (5) 総務省情報通信政策研究所と橋元良明の共同研究 「情報通信
メディアの利用時間と情報行動に関する調査(2020年度)」(2021年1
月)

都立高校生調査より

東京都教育庁の協力を得て、橋元研究室と総務省情報通信政策研究所が共同研究として実施

- ・ 調査対象 都立高校154校に通う高校生（各学年1クラスずつ）
- ・ 調査時期 2014年1月
- ・ 調査方法
無記名自記式質問紙調査。
都立高校へ一括して調査票を郵送し、回収は都立高校が一括して返送する。
- ・ 回収票 N=15,194, 2014年1月実施
- ・ 調査の目的 高校生のネット依存の実態把握

https://www.soumu.go.jp/main_content/000302913.pdf

ソーシャルメディアでよくやりとりする相手とその平均人数

「ソーシャルメディア上だけの友だち」が全体で19.4人と最も多く、「今通っている学校の友だち」（15.0人）、「以前通っていた学校の友だち」（10.2人）と続く。

依存傾向が高い生徒は、「ソーシャルメディア上だけの友だち」が93.1人と非常に多い。「ソーシャルメディア上で初めて知り合い、実際に会ったこともある友だち」も5.3人（全体では1.8人）。

		家族	今通っている学校の友だち	以前通っていた学校の友だち(今は別々の学校)	学校外の活動(塾、クラブ活動、趣味の活動等)を通じて知り合った友だち	ソーシャルメディア上で初めて知り合い、実際に会ったこともある友だち	ソーシャルメディア上だけの友だち
全体		1.6	15.0	10.2	4.9	1.8	19.4
性別	男	1.4	16.1	11.7	5.6	1.9	24.0
	女	1.7	14.0	8.9	4.2	1.7	15.7
学年	1年生	1.6	16.1	12.8	5.2	1.7	23.0
	2年生	1.5	14.9	9.1	4.5	1.6	19.0
	3年生	1.6	13.7	8.4	4.9	2.1	15.2
スマートフォン利用	利用	1.7	15.3	10.5	5.0	1.9	18.9
	非利用	0.7	12.3	7.2	3.3	1.0	24.4
ネット依存傾向	高	1.6	14.1	10.4	5.7	5.3	93.1
	中	1.6	15.0	10.1	4.8	2.0	20.9
	低	1.6	14.7	10.2	4.5	1.1	8.0

横浜市公立中学生調査より

横浜市の協力を得て、橋元研究室と総務省情報通信政策研究所の共同研究として、市内の公立中学校を対象に紙媒体質問票による配布回収調査を実施

- 調査対象校：横浜市内の公立中学校148校（生徒総数81,279人）のうち、横浜市教育委員会を通じて調整を行ない、調査への協力に同意が得られた22校（同11,589人）で調査を実施
- 調査対象者：各中学校における全学年、全クラスの生徒
- 有効回答数：10,596票（1年生：3,550票、2年生：3,636票、3年生：3,410票）
- 調査期間：2015年2月18日～3月13日
- 目的：中学生におけるネット依存の実態把握

橋元良明・大野志郎・天野美穂子・堀川裕介(2017)「横浜市中学生ネット依存調査」、『東京大学大学院情報学環 情報学研究 調査研究編』No. 33, pp. 159-220

ソーシャルメディアでよくやりとりする相手とその平均人数

よくやりとりするのは「同じ学校の友達」24.7人、ついで「ソーシャルメディア上だけでよくやりとりし、実際にはあったことのない友達」18.6人

依存傾向「高」の中学生は、「ソーシャルメディア上だけでよくやりとりし、実際にはあったことのない友達」が60.3人と非常に多い

	家族			同じ学校の友だち			学校外の活動(学習塾、クラブ活動、趣味の活動など)を通じて知り合った友だち			ソーシャルメディア上で始めて知り合い、実際に会ったこともある友だち			ソーシャルメディア上だけでよくやり取りし、実際にはあったことのない友だち		
	人数(人)	検定	N	人数(人)	検定	N	人数(人)	検定	N	人数(人)	検定	N	人数(人)	検定	N
全体	2.1		7540	24.7		7365	9.6		7341	2.0		7353	18.6		7357
男性	2.0		3511	25.7	*	3436	10.3	**	3418	2.1	n.s.	3411	16.8	n.s.	3420
女性	2.2	***	3715	23.6	*	3645	8.6	**	3631	1.8	n.s.	3645	20.3	n.s.	3642
1年生	2.3		2276	29.2		2230	10.6		2234	2.1		2212	15.7		2215
2年生	2.1	***	2614	23.6	***	2577	9.3	*	2558	2.0	n.s.	2567	17.6	†	2566
3年生	2.0		2650	21.9		2558	9.0		2549	1.9		2574	22.3		2576
依存	2.0	n.s.	484	28.6	*	473	12.0	*	478	4.8	***	474	60.3	***	470
非依存	2.1		6261	24.1		6127	9.2		6109	1.8		6118	15.2		6134

※母数はソーシャルメディア利用者。0人を含む。† $p < 0.1$, * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$

2021年1月における若年層のスマートフォン、SNSの利用率

～総務省情報通信政策研究所と橋元研究室の共同研究 全国無作為抽出訪問留置調査(全体のN1500)

スマートフォン、LINEの利用率は10代後半で100%。

Instagram利用率が急増

	スマホ利用率	LINE	Twitter	Facebook	Instagram
13歳	54.6	63.6	36.4	9.1	27.3
14歳	75.0	80.0	40.0	5.0	60.0
15歳	89.5	94.7	52.6	10.5	73.7
16歳	100.0	100.0	80.0	20.0	85.0
17歳	95.0	100.0	75.0	30.0	65.0
18歳	100.0	100.0	90.5	23.8	66.7
19歳	100.0	100.0	88.5	25.8	80.7
10代全体	90.9	93.7	67.6	19.0	69.0
20代全体	99.1	97.7	79.8	33.8	68.1

「ネットで見知らぬ人と会う女性の心理研究」から

橋元研究室とNTTセキュアプラットフォーム研究所による共同研究

- 調査方法：Webアンケート調査
- 調査対象者：選定条件
 - (1) 15～29歳の女性
 - (2) 未婚（離婚・死別も含む）
 - (3) ソーシャルメディアに書き込みをしている
- サンプル数：3000票（15～19歳：1000票 20～29歳：2000票）
- 調査期間：2014年3月21日～3月24日

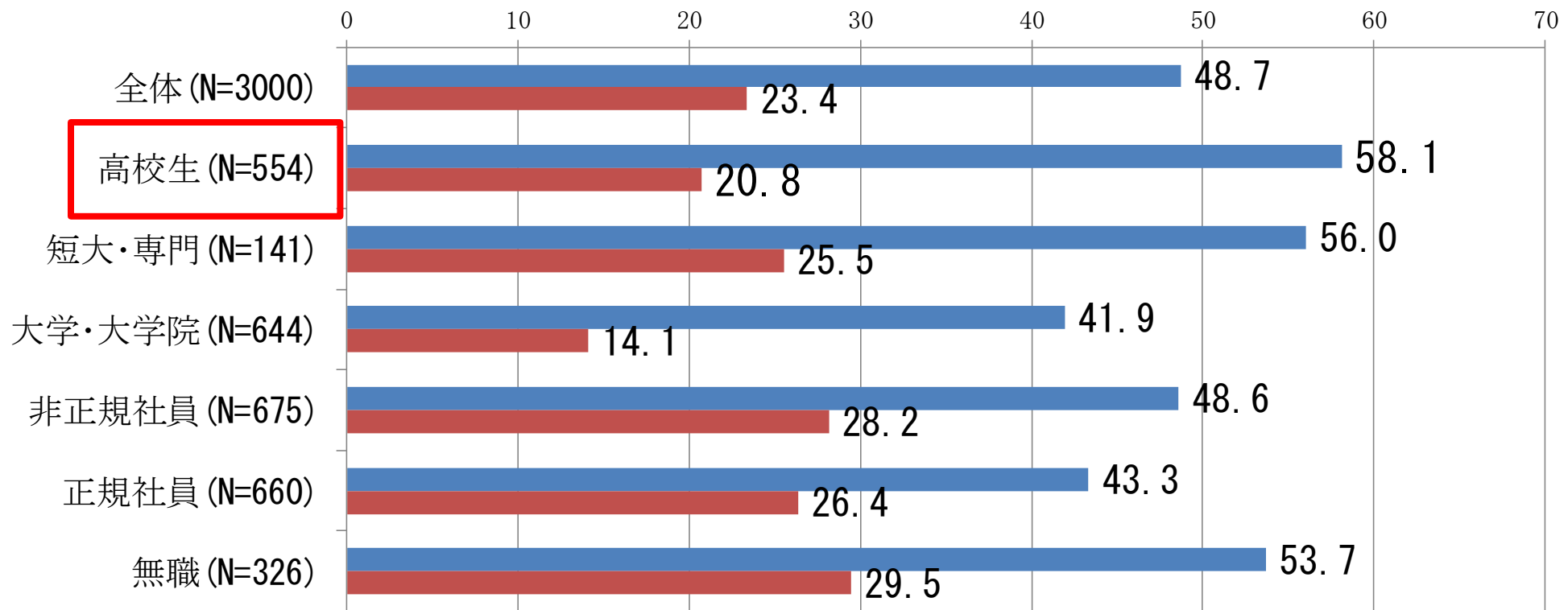
- 橋元良明、千葉直子、天野美穂子、堀川裕介(2015) ソーシャルメディアを介して異性と交流する女性の心理と特性, 『東京大学大学院情報学環 情報学研究 調査研究編』 No. 31, pp. 115-195.

異性とネットで知り合った経験者・実際に会った経験者の比率 (単位:%)

調査対象者全体 (女性) の48.7%がネット上で異性と知り合った経験があり、調査対象者全体の23.4%が異性とさらに実際に会った経験がある。

高校生では知り合った経験ありが58.1%、実際に会った経験ありが20.8%。

■ ネット上で知り合った経験あり ■ 実際に会った経験あり

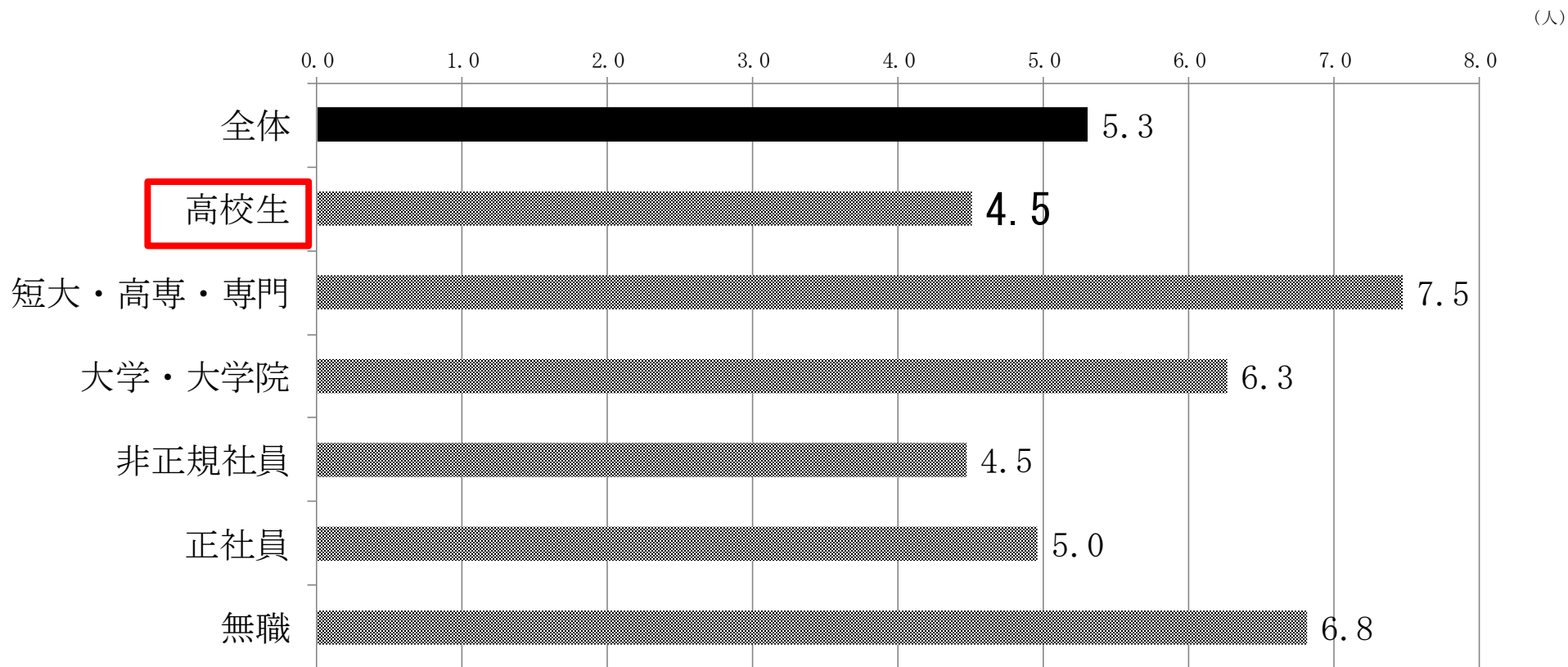


なぜ日常的に顔を合わす友達以外とやりとりするのか。～「周りの友人だと話がすぐ広まる」「違う自分を演じたい」

実際に会った異性の平均人数

実際に会った異性の人数は全体平均で5.3人、高校生で4.5人

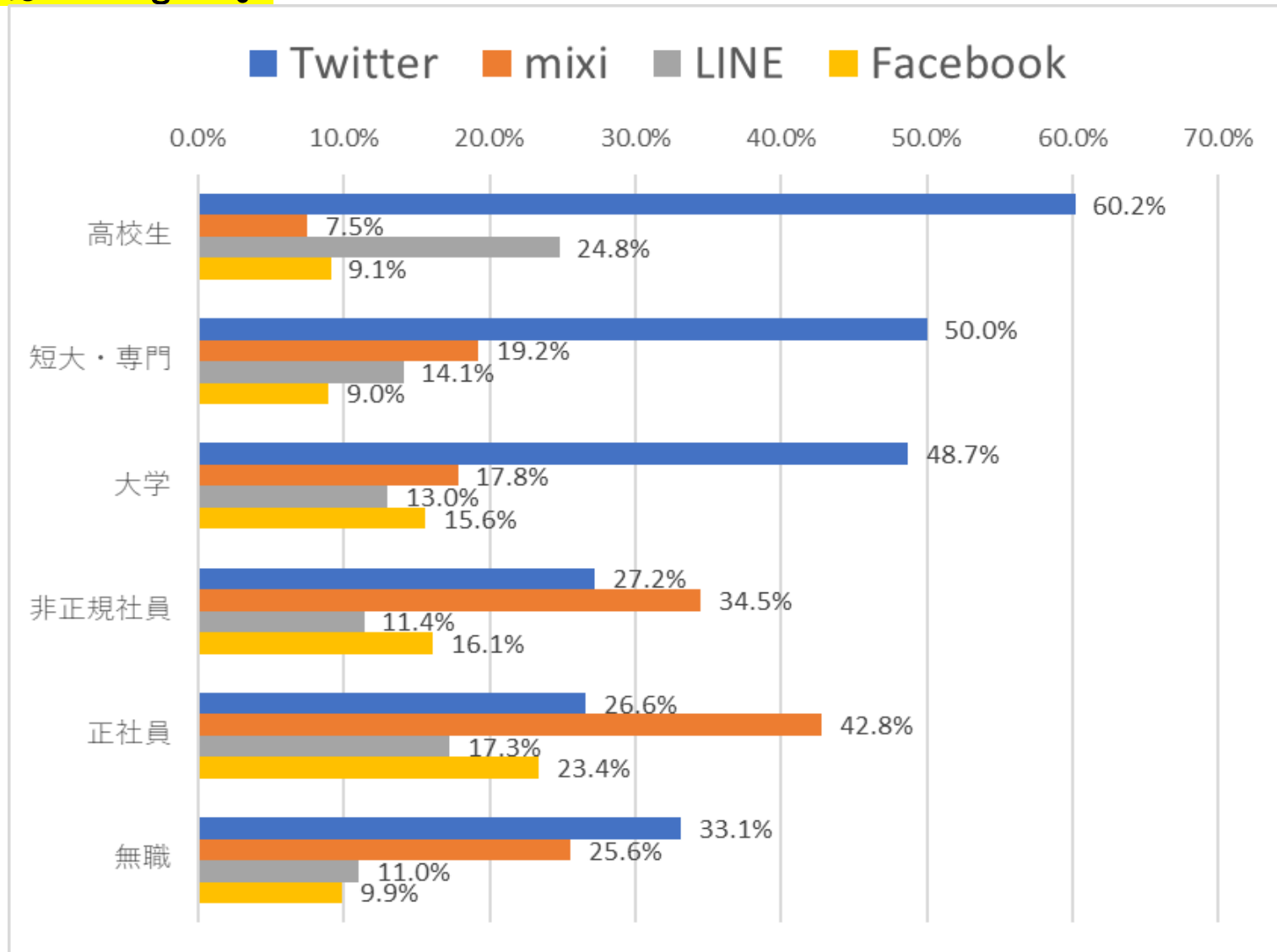
※分析母数は各カテゴリーで実際に異性と会ったことのある人。



異性と知り合うきっかけとなったSNS（複数回可）

異性と知り合うきっかけとなったソーシャルメディアは高校生ではTwitter、LINEが多い。

2014年時点。現在ではInstagram。



※分析母数はネットで異性と知り合ったことのある人1460人中、無回答を除く1432人。

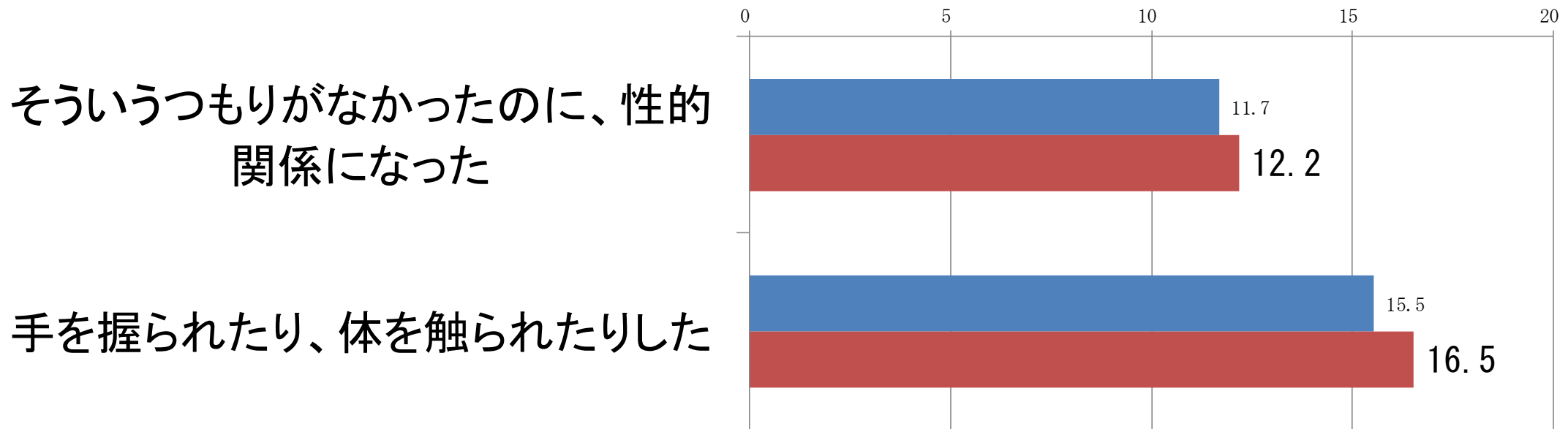
主なトラブルの経験

(単位:%)

実際にネットを通じて異性と会った経験のある人のうち、10%強が「そういうつもりがなかったのに、性的関係になった」と回答。

高校生は12.2%が「そういうつもりがなかったのに、性的関係になった」

■ 全体 (n=702) ■ 高校生 (n=115)



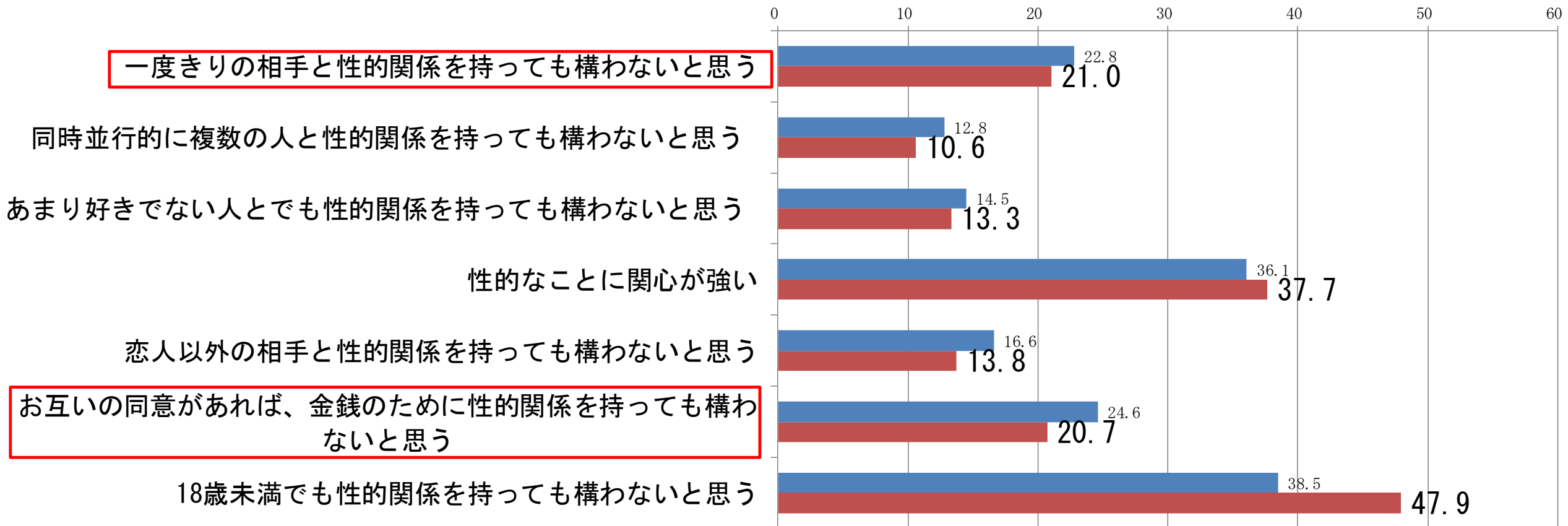
※分析母数はネットを通じて知り合った異性と実際に会った経験のある人

性規範に関する意識（「はい」の比率）

（単位：%）

「一度きりの相手と性的関係を持っても構わないと思う」で「はい」が高校生の**21.0%**。
「18歳未満でも性的関係を持っても構わないと思う」は高校生の**47.9%**。

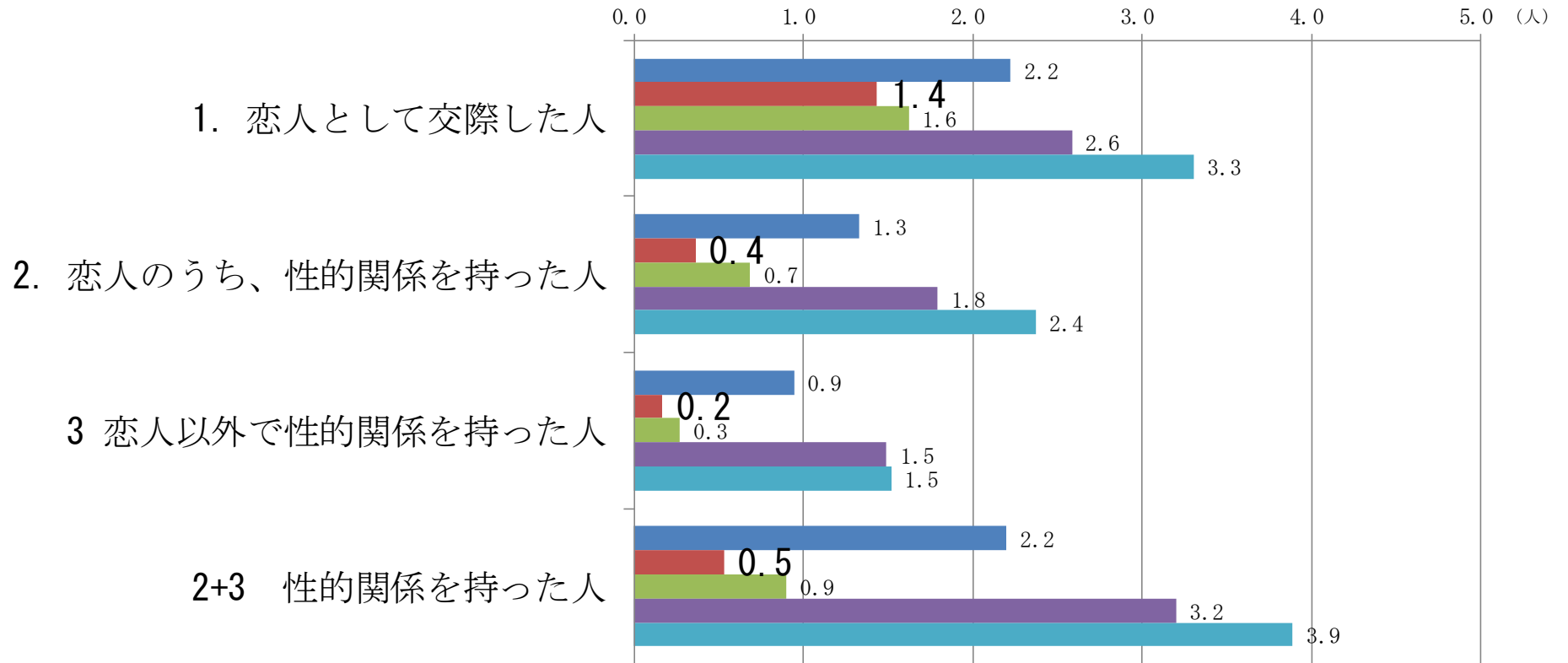
■ 全体 ■ 高校生



相手との関係別経験平均人数

「恋人以外で性的関係を持った人」の平均人数は全体で0.9人。高校生で0.2人

■ 全体 ■ 高校生 ■ 大学生 ■ 非正規社員 ■ 正社員



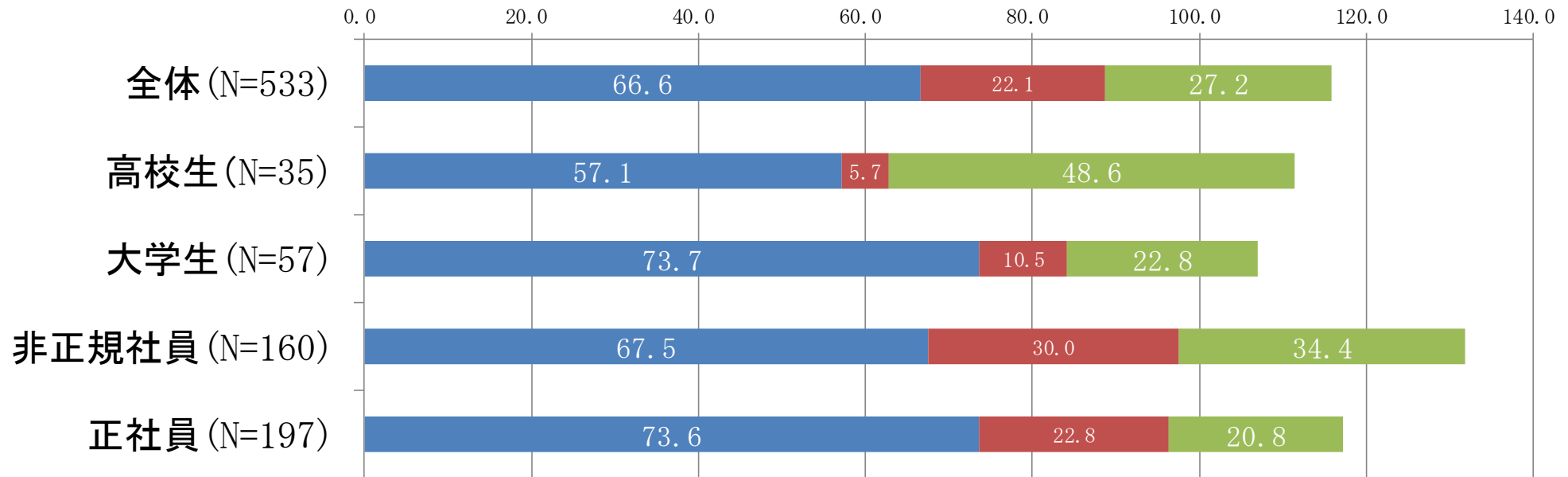
※分析母数は調査対象者全体。ただし、任意回答項目としたため、各項目、無回答者が500人前後いる

「恋人以外で性的関係を持った人」の 카테고리別比率

(複数回答可で積み上げグラフ、属性カテゴリーは一部省略) 単位:%

「恋人以外で性的関係を持った経験がある人」について、高校生の場合、そのうち約半数の48.6%が「インターネット上で知り合った人」。

- 学校やサークル、職場などリアルな生活で知り合った人
- 外出先でたまたま出会った人・ナンパで出会った人
- インターネット上で知り合った人



会うきっかけ ※MROCより

MROC:ネット上でのディープインタビュー調査

類型	件数	内容
偶然/流れで	10	<ul style="list-style-type: none"> ・偶然近所に住んでいた、同じ路線を使っていた ・SNSで「ヒマだ」「遊びたい」などつぶやいたことに相手が反応して ・「今度遊ぼうね」などのノリや流れから ・友だちがやっていたから何となく ・女性とのつきあいは経験があったので、男性も大丈夫だと思った
誘われて	10	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケに行こう、明日ヒマだし遊ぼう 等
会いたくて	5	<ul style="list-style-type: none"> ・つきあいも長いので単純に「会ってみたい」と思った ・お互い好きあっていたので、会いたいと思った ・いろいろな人とかかわってみたかった
グループ交流の一環で	3	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどで知り合った相手とオフ会をすることになった
その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットで知り合った人と実際に会うという事自体に興味があった ・女子校通いなので、彼氏探し感覚 ・スリルを楽しむ ・一度出会い経験をしてからは、そんなに仲良:くない人でもすぐに会うようになった
無回答	1	

※一人で複数カテゴリーの経験をしている場合がある。

2020年橋元グループとNTTの共同調査から









- 橋元グループとNTTセキュアプラットフォーム研究所（現・社会情報研究所）との共同研究
- 調査実施時期：2020年3月9日～16日
- 調査方法：ウェブ調査
- 調査対象：15才～69才
- 有効回収票：N=3,655
- 調査の目的：メディア利用行動一般

ここでは、「異性との出会い」関連質問に関し、とくに10代に限定した分析結果を報告

ネットではじめて知り合った異性とのやりとり

(SA[=単一回答]、仕事上のやり取りは除外) [10代]

10代女性の46.5%がやりとりの経験者(単位:%)

	女性	男性
やりとりしている	 21.3	 14.7
やりとりした経験はあるが、今はしていない	 25.2	 12.9
やりとりしたことはないが、今後やりとりしてみたい	 7.9	 19.0
やりとりしたことはなく、今後もやりとりするつもりはない	 45.7	 53.5

} 46.5%

仕事以外のネットで、知らない異性とやりとりをした理由 [10代]

(MA [=複数回答]、「やりとりしている」「やりとりした経験がある」人対象)

～共通の趣味、共通の友人がきっかけ

	女性	男性
1 共通の趣味や嗜好を持っていることがわかったから	59.3%	68.8%
2 共通の友だちがいることがわかったから	30.5%	18.8%
3.居住地や出身地、出身校（在校）が同じもしくは近いこと	8.5%	12.5%
4 顔が見えない相手の方が、気兼ねなく話せるから	30.5%	12.5%
5.リアルな世界では出会えないような職業や学校の人と交流	11.9%	3.1%
6.リアルな世界では出会えないような遠くに住んでいる人と	6.8%	3.1%
7.リアルな世界では出会えないような年代の人(かなり年上の)	3.4%	0.0%
8.付き合う相手を探していたから	5.1%	6.3%
9.結婚する相手を探していたから	0.0%	3.1%
10.ネットで友だち募集をしていたから	13.6%	3.1%
11.相手からアクセスがあって承認したから	8.5%	3.1%
12.好奇心でなんとなく	6.8%	12.5%

仕事以外のネットでやりとりをして知り合いになった異性の平均人数（もともと知り合いだった人は除く） [10代]

（「やりとりしている」「やりとりした経験がある」人対象）

～女性はやりとりの異性が多く平均3.9人

	女性	男性
(1) 年上の異性	3.9	2.0
(2) 同年代の異性	2.7	3.6
(3) 年下の異性	1.1	1.9
(4) 年齢不明の異性	1.5	1.3
	合計9.2名	8.8名

ネットで知り合った異性との知り合いのきっかけとなったサービス [10代、MA] ～女性はTwitterが多く、次いでInstagram

























	女性	男性
1.LINE	21.8%	48.1%
2.Twitter	61.8%	66.7%
3.Facebook	1.8%	0.0%
4.Instagram	25.5%	22.2%
5.TikTok	7.3%	7.4%
6.KakaoTalk	1.8%	0.0%
7.恋活アプリ・サイト(ペアーズ、withなど)	0.0%	0.0%
8.婚活アプリ・サイト(ゼクシィ縁結び、マッチドットコム、マリッシュ、Omiaiなど)	0.0%	0.0%
9.デートアプリ・サイト(タプル誕生、dine、tinder、CROSS ME、東カレデートなど)	0.0%	7.4%
10.オンラインゲーム	16.4%	14.8%
11.YouTube	1.8%	11.1%
12.ブログ	1.8%	0.0%

※20代になると「恋活アプリ(ペアーズなど)」22.7%、「デートアプリ(Tinderなど)」12.3%が急増する。

やりとりした相手と会いましたか？

(「これまでにネットで異性と知り合ったことがある人」かつ女性が分析母数、MA)

～ネットでやりとりして会ったのは10代女性の**30.5%**。
会う約束をしたまで含めると**44.1%**

	n				χ^2 検定
	全体 183	15-19歳 59	20-24歳 63	25-29歳 61	
会ったことがある	 55.7%	 30.5%	 68.3%	 67.2%	***
会う約束をしたが、実際には会えなかったことがある (相手が来なかった、待合せ場所や時間を間違え	 8.2%	 6.8%	 9.5%	 8.2%	n. s.
会う約束をしたが、結局会わなかったことがある (ドタキャンした、相手を見て会うのをやめたなど)	 8.2%	 6.8%	 6.3%	 11.5%	n. s.
これまでに会ったことはないが、会ってみたい人がいる	 9.8%	 8.5%	 6.3%	 14.8%	n. s.
これまでに会ったことはないし、これからも会うつもりはない	 32.2%	 47.5%	 25.4%	 24.6%	**
あてはまるものはない	 5.5%	 10.2%	 0.0%	 6.6%	*

ネットで知り合い、実際に会ったことがある 異性の平均人数（会った人が対象。10代）

～女性は「年上の異性」が多く1.5人。異性計で2.9人

（2014年調査との相違は標本母集団の違い）

	女性	男性
(1) 年上の異性	1.5	0.8
(2) 同年代の異性	1.2	1.3
(3) 年下の異性	0.1	1.1
(4) 年齢不明の異性	0.1	0.4
	合計2.9人	3.6人

ネットで知り合った異性と実際に会って、良かったこと（10代、MA）

～女性は「趣味が合う人と深い話ができる」55.6%

	女性	男性
1.趣味が合う人と深い話ができる	55.6%	66.7%
2.親やリアルな友だちには話せない話や悩みを相談できた	11.1%	16.7%
3.リアルな世界では知り合えない人と会うことで世界が広がる	0.0%	8.3%
4.彼氏・彼女候補を見つけられた	27.8%	0.0%
5.結婚相手候補を見つけられた	5.6%	0.0%
6.一緒に出掛ける遊び友だちを見つけられた	5.6%	0.0%
7.欲しいものを買ってくれたり、ごはんをおごってくれたり	5.6%	0.0%
8.寂しさを埋められた	16.7%	8.3%
9.リアルな人間関係の中より、チャホヤしてもらえた	16.7%	0.0%
10.その他	0.0%	8.3%
11.良かったことは特になし	16.7%	25.0%

ネットで知り合った異性と実際に会おうと思った理由 (10代、MA)

～女性は「話の内容から信頼できると思ったから」が44.4%で最多。「趣味が同じ」が27.8%

	女性	男性
1.相手の顔写真が出ていたから	11.1%	41.7%
2.相手が自分の情報を詳細に明らかにしていたから	22.2%	0.0%
3.話の内容から信用できる人だと思ったから	44.4%	8.3%
4.とにかく会ってみて、その後やりとりするかどうかが決めようと思ったから	16.7%	16.7%
5.知り合いの知り合いだったから	22.2%	16.7%
6.お金を持っていそうだから	5.6%	8.3%
7.近所だったから	11.1%	8.3%
8.趣味が同じだったから	27.8%	16.7%
9.さみしかったから	11.1%	0.0%
10.相談相手が欲しかったから	0.0%	0.0%
12.家族や友達とトラブルがあったから	0.0%	0.0%
13.日常生活がつまらないから	0.0%	0.0%
14.ネット上で知り合った相手の方が、気兼ねなく話せるから	5.6%	0.0%
18.ネットで彼氏彼女候補を探していたから	5.6%	0.0%
19.好奇心でなんとなく	16.7%	16.7%

ネットで知り合った異性と実際に会ったことを、第三者に話したか（10代、MA）
～女性は会う前に人にあまり話さない。「会ってから友人に話す」が27.8%

	女性	男性
1.会う前に友人に相談した	11.1%	16.7%
2.会う前に家族に相談した	11.1%	16.7%
3.会ったことを友人に話した	27.8%	8.3%
4.会ったことを家族に話した	0.0%	25.0%
5.会う前に友人や家族に相談していない	16.7%	16.7%
6.会ったことを友人や家族に相談していない	16.7%	0.0%

※事前配付資料の男性の数値はコピーミス

ネットで知り合った異性と実際に会う際に、 注意していること（10代、MA）

～女性は「相手に関する情報をよく調べ（50.5%）」、
「家に行かない／一緒に車に乗らない」ように注意して
いる（ともに44.4%）

	女性	男性
1.相手の家に行かない	44.4%	16.7%
2.二人きりで会わない	33.3%	8.3%
3.夜は会わない	38.9%	8.3%
4.一緒に車に乗らない	44.4%	8.3%
5.会うことをネット上も含め誰かに伝えておく	16.7%	0.0%
6.自分の個人情報をなるべく相手に伝えない	33.3%	0.0%
7.相手に関する情報をよく調べておく	50.0%	8.3%
8.相手に高価なものをもらわない	27.8%	8.3%
9.あてはまるものはない	16.7%	66.7%

あなたは、ネットで知り合った異性と会ったことについて、次のことがあてはまりますか（10代）。

～女性は「場合によっては危険なこともある」が50.0%
「自分は人を判断できる自信があるので、会っても大丈夫だ」が44.4%

	女性	男性
1.場合によっては危険なこともあると思っていた	50.0%	41.7%
2.自分に限って危険なことはないと思った	5.6%	8.3%
3.自分は人を判断できる自信があるので、会っても大丈夫だ	44.4%	25.0%

ネット上で知らない人とやりとりをすることの危険性について、あなたには、次のようなことがあてはまりますか(10代)。

～女性は「学校で、注意等を聞いたことがある」85.0%、
「ニュースや噂話で危険性を知った」59.1%

	女性	男性
1.学校で、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	85.0%	74.1%
2.警察の人や携帯会社の人などから、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	45.7%	40.5%
3.親から、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	52.0%	39.7%
4.家族から、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	41.7%	35.3%
5.知り合いから、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	28.3%	28.4%
6.その他の人や組織から、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	25.2%	23.3%
7.知り合いなどの、危険な目にあったという体験談を聞いたことがある	25.2%	27.6%
8.ニュースや噂話を通じて危険性を知った	59.1%	46.6%
9.自分の経験を通じて学んだ	25.2%	23.3%

先の質問(選択肢)でためになったこと(10代)

～女性は「学校での話」はためになったが44.9%

概して、「ためになった」は聞いたうちの半分

	女性	男性
1.学校で、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	44.9%	37.9%
2.警察の人や携帯会社の人などから、注意・説明・アドバイスを聞いたことがある	20.5%	19.8%
3.親から、注意・説明・アドバイスを受けたことがある	17.3%	13.8%
4.家族から、注意・説明・アドバイスを受けたことがある	13.4%	12.1%
5.知り合いから、注意・説明・アドバイスを受けたことがある	8.7%	10.3%
6.その他の人や組織から、注意・説明・アドバイスを受けたことがある	10.2%	7.8%
7.知り合いなどの、危険な目にあったという体験談を聞いたことがある	6.3%	12.1%
8.ニュースや噂話を通じて危険性を知った	30.7%	21.6%
9.自分の経験を通じて学んだ	11.0%	9.5%

2020年橋元グループ・NTT共同調査のまとめ

(ネットでの異性との出会い、10代の分析)

- ネットで始めて知り合った異性とやりとりしている人(過去の経験も含む)の比率
女性46.5% 男性27.6% (2014年調査の高校生女子[58.1%]と比べやや低い比率)
- 平均人数は9.2人、うち「年上の異性」3.9人(女性)
- 女性がネットで知らない異性とやりとりするようになったきっかけは共通の趣味、共通の友人
- 知り合うきっかけとなったのは女性はTwitterが61.8%で最多(やはりTwitterが多いがInstagramが増加の気配。20代では「恋活アプリ」「デートアプリ」が増加)
- 女性で「知り合って異性と会った」30.5%。「会う約束をした」まで含めると44.1%
(2014年調査の高校生でもネットで知り合った異性の3分の1はその後会っている)
- 「会う理由」～女性は「話の内容から信頼できると思ったから」が44.4%
- 会う前に友人や家族にはあまり相談せず。会ってから友人に話をした27.8%
- 会う際に「危険なこともある」と認知していた女性は50.0%
一方で、「人を判断できる自信があるので大丈夫」44.4%

まとめ

- 10代女子の4, 5人に一人は、日常的に面識のない異性と、ネットを通して会っている。そのこと自体はごく当たり前になってきている。
- 今後、Tinderなどのマッチングアプリのさらなる普及でその機会は増加する。
- 人数的には決して少ないとは言えず、多くは年上。
- 出会う動機は、ごく自然の流れ。
- 多くの女子は、危険は存在するが、自分は大丈夫という、一種の「正常化偏見」を持っている。
- 実際の被害は、確率的にはさほど多くはないとはいえ、実際に出会って、意図しない性的被害を受けた女子も1割強そんざいする。
- 家族はもちろん、友人に会うことを相談することは少ない。
- 被害を事前に防止するには、気楽に相談できるしくみが必要。